

2023年のトレンドを先取り—
Web3.0のグローバルスタンダードを知る。
NFT・メタバース・ブロックチェーン・
アニメコンテンツ

2023.TREND 全比較

隔月刊(奇数月21日発行)

暗号資産

2023 Vol.46

Digital assets

1月号

— 伝統と革新 —

書道界のニュータイプが描く

NFT・メタバースの世界

青柳美扇

Bisen Aoyagi

知って得する

税務申告の 備え

次世代のリーダーが見る Web3.0とブロックチェーン

「神奈川大学Web3研究会」「名古屋大学Web3研究会」「九州大学web3推進会 Crypto9」

特集

青柳美扇

あおやぎひせん

の新しい挑戦

伝統と革新をモットーに
広がり続ける「和」のデジタルエキスポ

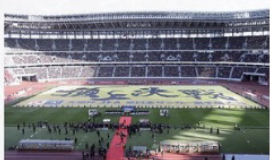
VR 書道

I did a calligraphy performance in VR.
I felt infinite possibilities! Have fun and be happy!

MBS「情熱大陸」でも話題となった、青柳美扇の3D作品の代表作「美の風扇」約5000枚の「美」の華文字を慎重にも取り合わせ、扇屋の羽や葉を忠実に再現したいと構想から生まれた「美の立体」シリーズ。
2021年よりVRの新たな取り組みとしてVR書道に挑戦。仮想空間に立体的な文字を書き、Blender*Hosを駆使して、現実世界と同じ工程で仮想空間の中に「美の風扇」「美の鬼神書神」を出現させることに成功した。
2022年にはVRChat、NeoVR内に青柳美扇ミュージアムを開館し、話題を集めている。伝統と革新をモットーに、大好きな書道で様々な表現に挑戦し続けている。

Interview
Bisen Aoyagi

Interview



「天皇杯JFA第99回全日本サッカー選手権大会」2020.11.6万人が熱狂した国立競技場で、和太鼓とのコラボや150名がかりでピッチ全体に広げられた巨大横断幕「頂上決戦」の筆文字ロゴも担当。©JFA



2021年10月24日放送の「情熱大陸」にも出演。約1ヶ月に及ぶ密着取材では自身5回目となる書道展準備の様子が映し出されている。書道展の日常の中で垣間見える等身大の女性の美顔。気鋭の書道家の挑戦を透したドキュメンタリー。©mbs「情熱大陸」



「モンスターハンターライズ」©CAPCOM CO.,LTD.

— 書道を始められたきっかけをお訊かせください。 —
青柳美扇氏(以下・美扇) 書道を始めたのは4歳からです。おばあちゃんの存在が大きかったと思います。おばあちゃんは着物を作る和装の先生で、書道もやる、お花もやる、茶道もやる。色々な和文化に精通していました。私はおばあちゃん子だったので、そんなおばあちゃん和室で遊びながら育ちました。中でも書いたらたたくん褒めてもらえる事が嬉しくて、書道が一番好きになりました。

— 書道をお仕事にされたと思ったきっかけは何ですか? —
美扇 高校生の時、大学に進学するといふタイミングで、好きな書道をもっと勉強したいと思いました。書道と書道の違いについて、大学で初めて学び、書道パフォーマンスに出会い、書道の魅力がどんどんハマっていききました。その時に「書道大好きや、書道で生きていきたい」と強く思いました。

— 美扇さんが思う書道・習字の違いは何? —
美扇 習字は綺麗に美しく、正確に書く。書道はそれを基本としながら、芸術性を高めて自分の表現をプラスしていく、というモノだと思っています。

— NFT・VRアートなど活動の幅を広げられていますが、暗号資産・ブロックチェーンの技術を知ったきっかけを教えてください。 —
美扇 2、3年前ほど前に cryptocurrency を知りました。当時は少し怪しいとも思いましたが、疑問に思ったことを調べることが好きなので、自分で調べていく過程で、ウォレットを作成してBitcoinを買ったことが暗号資産との出会いです。1年半くらい前は、NFTアートを知るきっかけもありました。VRワールドを造ってるクリエイターさんを見て見たいんです。「すごい、私もやりたい」と思い、すぐSNSで連絡をさせていただきました。VRチャットでお会いし

— デジタルとフィジカルの違いは—そもそもデジタルとフィジカルでは、色の規格の違いがある。デジタルアートの色の規格は「光の三原色(RGB)」に対して、RGBのインクを吹き付けて印刷するシリアル版画を除いて、フィジカルアートは主に「色の三原色(CMY)」を使っている。「光の三原色は全て混ぜると白になり、色の三原色は全て混ぜると黒になる。この本質的な色の規格の違いから、デジタルアートでは光の表現が幅広く出来るし、見えるだろう。」

——書道を始めたきっかけをお訊かせください。

青柳美扇氏（以下・美扇） 書道を始めたのは4歳からです。おばあちゃん存在が大きかったと思います。おばあちゃんは着物を作る和裁の先主、書道もやる。お花もやる。茶道もやる。色々な和文文化に精通していました。私はおばあちゃん子だったので、そんなおばあちゃんと和室で遊びながら育ちました。中でも書いたらたくさん褒めてもらえる事が嬉しくて、書道が一番好きになりました。

——書道をお仕事にされたいと思っただけは何ですか？

美扇 高校生の時、大学に進学するとい



「天皇杯JFA第99回全日本サッカー選手権大会」
2020.1.1、6万人が熱狂した国立競技場で、和太鼓とのコラボや150名がかりでピッチ全体に広げられた巨大横断幕「頂上決戦」の筆文字ロゴも担当。©JFA



2021年10月24日放送の「情熱大陸」にも出演。約11ヶ月に及ぶ密着取材では自身5回目となる書道展準備の様子が映し出されている。書道漬けの日常の中で増幅見せる等身大の女性の美顔。気鋭の書道家の挑戦を通ったドキュメンタリー。©mbs「情熱大陸」



「モンスタースハンターライズ」©CAPCOM CO.,LTD.

うタイミングで、好きな書道をもっと勉強したいと思いました。習字と書道の違いについて、大学で初めて学び、書道バファオマンスに出会い、書道の魅力にどんどんハマっていききました。その時に「書道大好きや、書道で生きていきたい！」と、強欲になりました。

——美扇さんが思う書道・習字の違いは？

美扇 習字は綺麗に美しく、正確に書く。書道はそれを基本としながら、芸術性を高めて自分の表現をプラスしていく、というモノだと思っています。

令和2年、経済産業省が公開した「コンテ

ントの世界市場・日本市場の概観」というレポートの中に、デジタル市場とデジタル市場の年平均成長率（CAGR）の記載がある。2019年〜2023年の5年間、世界のフィジカル市場の年平均成長率がマ

イナス0.1%なのに対して、デジタル市場は8.2%と市場は明らかに拡大している。プロダクションの技術を活用した「二点物のデジタルアート（NFTアート）」の隆盛も一つの要因であろう。NFTは自由に移動

でき、共通規格に沿ったサービスであれば相互運用が出来たり、インセンティブ設計等の付加機能を付けることも出来たりもするが、アートという側面から見ればもっと本質的な違いがある。

デジタルとフィジカルの違いは——そもそもデジタルとフィジカルでは、色の規格に違いがある。デジタルアートの色の規格が「光

の三原色（RGB）」に対して、RGBのインクを吹き付けて印刷するシクレー版画を除いて、フィジカルアートは主に「色の三原色（CMY）」を使っている。「光の三原色は全て混ぜると白になり、色の三原色は混ぜると黒になる。この本質的な色の規格の違いから、デジタルアートでは光の表現が幅広く出来るといえるだろう。

—— NFT・VRアートなど活動の幅を広げられていますが、暗号資産・ブロックチェーンの技術を知ったきっかけを教えてください。

美扇 2、3年ほど前に仮想通貨を知りました。当時は少し怪しいとも思いましたが、疑問に思ったことを調べるのが好きなので、自分で調べていく過程で、ウチットを作成してPUSHOを買ったことが暗号資産との出会いです。1年半くらい前は、NFTアートを知らなかったこともあり、VRワールドを通ったクリエーターさんをテレビで見たんです。「すごい、私もやりたい！」と思い、すぐSNSで連絡をさせていただきました。「VRチャットでお会いし

た